



県立広島大

県大の魅力内外へ発信



3年
三反田夏歩

県立広島大（広島市南区）のブランド力を高め、魅力を内外に伝えるためのプロジェクトを運営する学生組織「学生ブランドアンバサダー」が活動を活発化させている。

メンバーは学部、学年を超えた有志約30人。活動は、大学の資料を取り寄せた高校生に贈る記念品、フリーペーパー作り、大学オリシナルキャラクターのLINEスタンプの作成、交流サイト（SNS）でのゼミ紹介など幅広い。

「アンバサダー」動き活発化

記念品作りでは、受験生が英単語などの暗記に使うこと多い「赤シート」の作成や、ルーズリーフに大学オリシナルのキャラクター印刷の作業に取り組んだ。

ゼミ紹介に携わった経営情報学部経営学科4年の岡本悠莉さん(21)は「SNSを見た高校生から感謝のメッセージが届いたことがうれしかった。活動を通してさまざまな人と関わることができ、貴重な体験になっている」と話す。また、フリーペーパーを作成した地域創生学部地域創生学科の友国涼さん(21)は「これからは学生だけでなく、地域、全国の人々に県大の魅力を発信していきたい」と意気込んだ。



オンラインでの会議に参加した「学生ブランドアンバサダー」のメンバー